

学校給食ニュース vol.193 2017年7月号

全国学校給食を考える会 電話:03-3402-8902 FAX:03-3402-5590 E-mail kyushoku@member.daichi.or.jp
会費口座(郵便振替口座) 口座番号: 00100-2-726489 名義: 全国学校給食を考える会
<http://gakkyu-news.net/jp/> E-mail desk@gakkyu-news.net (編集・投稿)

学校給食ニュースは変わります。
紙版発行は本号をもって終了し、
9月よりホームページ上での無償公開に変わります。
過去の紙版ニュースなどは順次公開していきます。

学校給食ニュースの情報と、過去のデータを、学校給食に関心をもった多くの人たちに自由に使ってもらい、学校給食、子どもの食を少しでもよくしてもらおうと、学校給食ニュースのあり方を見直しました。

これまでの有償による情報提供と、会員(購読者)のみのインターネット上でのダウンロード形式をやめて、基本的にすべて公開情報に切り替えます。

過去の学校給食ニュース(PDF版)については、一部の個人情報や著作者の再許諾が必要なものなどの見直しを行った上で、公開可能なものについて新しい号から順次過去の号を公開していきます。

公開等の情報については、
学校給食ニュースホームページ
<http://gakkyu-news.net/jp/>
にてご案内します。

また、Facebookの学校給食ニュース
<https://www.facebook.com/gakkyunews/>
でも同様にのご案内します。

新しいニュースについては、2017年9月より、ホームページ上の記事として掲載することになります。

これを機会に、ひとりでも多くの方に学校給食について関心を持っていただき、地域での取り組みや学校給食の政策などについて考え、声を上げていただければと思います。

本号では、過去192号で取り上げたトピックスの一覧を掲載します。

学校給食の課題のリストにもなっていますのでぜひご一読、ご活用ください。

ご挨拶 学校給食ニュース編集責任者 牧下圭貴

学校給食ニュースは、1998年2月号より今日まで19年半、年間10回を基本に毎月紙版で発行し、インターネット上では有料会員(購読者)の方にダウンロードで読めるようにしてまいりました。

学校給食ニュースは、学校給食の合理化問題(センター化、調理の民間委託、パート化)に対し、食の安全や教材化など、子どもたちのための運動に取り組もうという流れからはじまりました。くわしくは、このあとの、「学校給食ニュースがスタートした頃」をご一読ください。

学校給食ニュースのテーマは合理化問題だけでなく、学校給食の理想や具体的な改善、課題の解決策を探り、最新の情報や取組みを共有することにもありました。「教育を目的とした」学校給食の達成のためには、自校直営方式の施設設備、充実した献立と食材、調理技術、そして、学校給食を「生きた教材」として活用できる学校や地域のしくみを向上していこうという基本的な考え方のもとに、合理化問題、食育(教材化、地場産給食)、食の安全性などの問題を取り上げてきました。

ニュース発行当初は、調理の民間委託に対し、各地で合理化反対の市民運動が広がり、なかには裁判闘争にまでいたった事例もありました。また、各地の市民運動、消費者運動などと連携した、遺伝子組み換え食品など食の安全性に対する取組みもありました。

その後、食物アレルギー対応、ノロウイルスなどの流行による衛生管理体制の強化、食育基本法制定などによる、学校給食の中の食育の位置づけなど、子どもの貧困問題など、時代や社会の変化を受けた記事も多くなりました。

とりわけ、2011年3月の東日本大震災と東京電力福島第一原子力発電所の事故による放射能汚染問題は、日本社会を揺るがし、価値を見直す大きな転機にもなりました。

いま、あらためて192本の学校給食ニュースを見返してみれば、そこには、学校給食をとりまく様々なテーマ、とても幅広いテーマがあることを実感します。

学校給食は、和食献立の多様化、教育力の充実、ア

レルギー対応など、その中身や質を少しずつ良くしながらも、合理化、食の安全、貧困対応、デリバリー給食など、問題は引き続き山積しています。

学校給食の問題に限ったことではありませんが、今できることに取組みながら、10年先、20年先を見すえた長期的な理想を掲げ、行動する仲間を増やすことが大切だと思います。

過去の学校給食ニュースの情報が、少しでもそのために活用できることになればと願っております。

今後も、学校給食ニュースとして、国の政策から自治体の取組み、教員、栄養教職員、調理員、保護者、市民、農家などの取組みを紹介していきたいと思えます。

これまでの紙版学校給食ニュースご支援に心よりお礼申し上げるとともに、今後とも、皆様からの情報提供、感想等の投稿をよろしく願いいたします。

なお、学校給食ニュースウェブサイト運営のための寄付等のご支援も大歓迎です。

寄稿「学校給食ニュース」がスタートした頃 全国学校給食を考える会顧問 野田克己

30年以上にわたり、学校給食をはじめ有機農業、食の安全など様々な運動に取り組み続けている野田克己さんに「学校給食ニュース」スタートにいたる経緯などについて寄稿いただきました。

「学校給食ニュース」は今から20年前、1998年にスタートしました。月1回、年10回の定期発刊です。

前の年1997年2月24日に開催した「学校給食全国集会」が、そもそもの「キック・オフ」でした。この全国集会のテーマが、「さあつくろう！学校給食運動の新しい情報ネットワーク」です。

「各地の取り組みを、集めて、つないで、描く学校給食のビジョン」づくりを掲げたのでした。

「食教育」、「環境教育」、「地域をつなぐ学校給食」、「教材化」などのキーワードを軸に、各地の多様な運動展開の事例に学び、その共有化をはかりながら、民間委託化など当面さし迫った対抗運動とともに、ビジョンづくりのためのネットワークづくりを今後の課題にしようと呼びかけあったのです。

それは、1985年の合理化通知に反対する、給食現場と市民・保護者の共同行動が始まって17年目のことでした。

各地で民間委託化の動きが加速されていたころです。

毎年1回「春の全国集会」に集まって事例を学ぶだけではやっぱり情報不足で、せっぱつまった各地の動きに対応できない。もっと幅の広がりのある運動も語れない。

全国集会の打ち合わせでそんな議論をしている時、当時の自治労現業局の担当書記さんだったHさんが「インターネットを使う時代だよ」と提案してくれたのが「学校給食ニュース」づくりのきっかけでした。

そして1997年全国集会のテーマと基調報告を議論しつつ、並行して、「インターネット」を活用した情報ネットワークのあり方・すすめ方の検討を開始したのです。

民間委託・合理化反対運動はもちろんのこと、自校方

式、食教育、食材、地産地消、遺伝子組み換え、環境ホルモン、合成洗剤、食品添加物、農薬など学校給食が抱えるさまざまな問題について関係団体で意見交換しながら基本情報と考え方を1年ほどかけて整理しました。整理役は、当時フリーとして活動を始めた牧下圭貴さんをお願いしました。

そうやってスタートした「学校給食ニュース」です。

一般的な情報提供サイトではなく、子どもたちの目線に立つ理念と主張を持った学校給食の情報サイトですから、発信のインパクトは強く、各地からのコンタクトやマスコミからの問い合わせも少なくありませんでした。各地で地域の運動に関わる人々にも支えられました。

20年は長いようで、あつと言う間です。

この機会にWEB情報を俯瞰してみてください。

「学校ニュース」の情報は、膨大に蓄積され、すでに歴史的にも貴重な情報となっています。取り上げたテーマ、視点、事例の多様さは、食の大切さ、子どもたちに食べてほしい給食とは何かという問いかけに満ちています。情報の送り手は走りながら発信し続けてきました。果たして、この膨大な学校給食情報は、どう活かすのでしょうか。「学校給食ニュース」がスタートした頃と比べ、栄養教諭や食育が制度となった学校給食現場、民間委託の既成化、給食現場の担い手・保護者・子どもたちの意識など、学校給食をめぐる事情は様変わりしているかにも見えます。果たして、この膨大な学校給食情報は、どう活かすことができるのでしょうか。

20年の節目を迎えWEB情報を広く公開することとは、「子どものたちのためになる、楽しくおいしい学校給食」のために、今とこれからの「学校給食ニュース」ができること・すべきことを、さらにたくさんの人びとと考えていくことなのだと思います。

学校給食ニューストピックスリスト

この20年で学校給食は何を課題にしてきたのか？

学校給食ニュースで扱った20年のトピックスをリスト化しました。この20年で大きく変わったのは調理の民間委託化、PFIによる大型センター化、食育基本法と学校給食法改定、栄養教諭制度、食中毒と衛生管理、食育、アレルギー対応、米飯給食のさらなる進展と、地場産の政策化、格差社会と子どもの貧困などです。少しずつ良くなってきた面、少しずつ課題が大きくなってきた面、両方あると思います。いま、なにができたのか、なにがたりていないのか、何をすればいいのか、考えるヒントになれば幸いです。また、ウェブ上での無償公開時の参考にもなさせていただきます。

【1998年 学校給食ニュース】

- 98.02
すすむ民間委託 ～問題整理と各地の動き～
- 98.04
学校給食全国集会報告
- 98.05
食中毒と衛生管理
- 98.06
学校給食食器
- 98.07
アレルギー・アトピーと学校給食
- 98.09
学校給食は環境ホルモン問題にどう対応するか
- 98.10
あらためて、合成洗剤追放を
- 98.11
遺伝子組み換え食品が学校給食にも登場しています
- 98.12
食生活に大きな影響を与える 学校給食のあり方

【1999年 学校給食ニュース】

- 99.2
民間委託された学校給食のゆくえ

- 99.3
学校給食全国集会報告
民間委託による中学校給食・中学校スクールランチ問題
名古屋市
民間委託の現場から～スライドを使って 広島県廿日市市 広島県大野町
産直自校方式学校給食の現場から 世田谷区 佐賀県食器変更のとりくみと課題 佐賀県鳥栖市
子どもたちとの交流を深めるために～給食センターのとりくみ 山形県鶴岡市
- 99.4
経費節減にならないのになぜ？ 龍ヶ崎市の新設給食センター民間委託問題を考える
- 99.5
質問に答えて…アルミナの安全性
最近のできごと コレール食器破損で児童、目に怪我
- 99.6
有機野菜を学校給食へ～JA山武睦岡支所無農薬有機部会～
秋田県横手市からのよびかけ
東京都八王子市からのよびかけ
- 99.7
学校給食への提案 牛尾保子(全国学校給食を考える会代表)
- 99.9
宮城県の学校給食調査～塩釜市学校給食を考える会の取り組みから～
99学校給食夏期学習会報告
食中毒と照射食品—アメリカと日本の動き
ご意見 東久留米市の中学校学校給食実施
- 99.10
堺市の向丘小学校PTA 保護者投票で民間委託の是非を問う
民間委託 東京都文京区、民間委託への疑問
投稿 堺市のO157裁判判決が示唆したもの

99.11

福岡は元気！うちんげの取り組みバ 自慢しようかい

【2000年 学校給食ニュース】

00.01

学校給食用手袋の材質に注意を 環境ホルモン(内分泌かく乱物質)の恐れあり

事例報告 T・Tによる牛乳の栄養指導

00.02

千葉県市川市で民間委託反対のうねり

00.03

学校給食全国集会報告その1

記念講演:学校給食が食生活に与えた影響について
根岸久子さん

00.04

学校給食全国集会報告その2

現地レポート報告:民間委託反対の現場から 民間委託では学校給食が発展・充実しない

現地レポート報告:地域で生産者と消費者を結び食の安全をどう守るか 地場型学校給食や食・農教育をどうすすめるか

現地レポート報告:おにぎり給食に込められたメッセージ

00.05

若者の街・原宿の学校給食 渋谷区立原宿外苑中学校

00.06

緊急特集 調理・配食現場での塩ビ製手袋のすみやかな使用中止を。

環境ホルモン(内分泌かく乱物質)のフタル酸エステルが高濃度で溶出します。

00.07

学校給食調理とHACCP 衛生管理について考える

トピックス 問題山積の徳島市学校給食…食器・給食費

00.09

学校給食民間委託の経費試算 考え方

インターネット版から 姫路市で、PC食器導入を強行…なぜ、いまさら

00.10

遺伝子組み換え食品最新情報

00.11

「牛乳」について考える 1

【2001年 学校給食ニュース】

01.01

「牛乳」について考える 2 雪印乳業食中毒事件と学校給食

01.02

民間委託を止める運動に新たな動き 住民監査請求

01.03

学校給食全国集会2001報告 その1 民間委託阻止のうねり

市川市の民間委託と住民訴訟

摂津市の民間委託を阻止

集会緊急アピール 遺伝子組み換えのコメを子ども達には食べさせません

インターネット版から 八王子の自校小学校民間委託方針が転換、直営へ

01.04

学校給食全国集会2001報告 その2 遺伝子組み換えよりも地場産

記念講演～遺伝子組み換えと学校給食

三里四方の食材を子ども達に

01.05

学校給食現場での食器洗浄をあらためて考える。～2001年1月の朝日新聞記事を受けて～

01.06

大阪府堺市で、民間委託差し止めの住民訴訟が提訴されました

01.07

次亜塩素酸に替わる方法 問いかけにご提案いただきました

運動ネットワーク アメリカで学校給食に照射牛肉? ある報道をめぐって

01.09

名古屋市スクールランチの現状

運動ネットワーク なぜ、私たちは学校給食の民間委託に反対しているのか 東京都杉並区の給食調理委託、差し止め訴訟提訴

インターネット版から 下処理ごとに白衣もズボンもはきかえ、なぜ?

01.10

狂牛病と学校給食～今、何をすべきか

01.11

食を通した指導…栄養職員は、調理員は、何ができるのか

ホームページより 神奈川の高校文化祭で給食しらべ・狂牛病、牛肉関連業の方からのご意見

【2002年 学校給食ニュース】

02.01

民間委託のコストについて 調理員の平均賃金との単純比較に要注意

02.02

調理の民間委託、安易な導入をさせないために反対運動の広がり連携を

市民の反対運動事例募集と事例紹介～京都府宇治市とりくみ紹介 東京都世田谷区立烏山北小学校

02.03

学校給食全国集会結果報告 2002年2月25日開催しました

記念講演「食・ねぐら・愛」本間千枝子さん

民間委託阻止事例 兵庫県香住町の民間委託化は署名活動と議会議論で阻止されました

02.04

学校給食全国集会報告2

記念講演：地域が支える学校給食 星寛治

事例発表：学童保育所での給食実施について 福岡県穂波

事例発表：栄養士の民間委託について

02.05

千葉県市川市・民間委託差し止め訴訟より

ホームページより 民間業者の調理員として、民間委託への意見

02.06

京都府宇治市の小学校給食調理委託で保護者が給食状況を毎日確認 問題が多いとして、住民監査請求提出

02.07

アトピー・アレルギー最新情報

ホームページ・ニュースへの投稿 給食・アレルギー・委託についてのご意見

02.09

ある養護学校での給食調理委託の実態

安心して使える学校給食用の食器とは何か？ 新合成樹脂PENの問題点

ホームページ・ニュースへの投稿 給食を残してもいいのでは。米飯残食の洗浄。

輸入食品と食品添加物 新しい食品添加物が次々に認

められることに

02.10

給食食器問題～強化ガラスの破損について

食品の安全性 輸入野菜の食品衛生法違反と、国内での無登録農薬問題

02.11

福岡県岡垣町の学校給食と調理員の取り組み

投稿 保護者の立場からの民間委託反対運動

【2003年 学校給食ニュース】

03.01

投稿～センターでの強化磁器洗浄と騒音

ホームページへの投稿 「給食は残さずに食べるべきか？」への返事

兵庫県西宮市、民間委託ではない「基本方針」

03.02

沖縄県那覇市、給食調理の民間委託方針

ホームページへの投稿 小麦アレルギーで学校給食が不安です

03.03

学校給食全国集会レポート1

講演子どもとつむぐ食の学びへ～今、総合学習がおもしろい～

ホームページへの投稿 食器や衛生管理について情報を求めています

03.04

学校給食全国集会レポート2

地産地消他、各地の取り組み・民間委託問題

03.05

千葉県市川市、民間委託差し止め訴訟経過 高裁で、証人尋問が6月に開かれます

Q and A よく寄せられる質問に答えて 民間委託ではなぜ、直営調理員と混在できないの？

03.06

学校給食衛生管理の基準が改定 その特徴と問題点

事例研究 千葉県立国分高校生徒が考えた学校給食

03.07

アレルギー対応を通して、学校の危機管理を考える

再録：そばアレルギー 学校給食の重さ～ひとつの死をめぐって

ご案内 栄養所要量の基準が変更されました。食事内容についての文部科学省通達が出ています。

03.09

学校給食を丸投げ！ 献立も食材も委託企業まかせに
新津市の学校給食センターPFI方式を考える

2003年夏期学校給食学習会報告

03.10

中教審中間報告「栄養教諭制度」 みなさんは、どのよ
うに考えますか？

03.11

千葉県市川市の民間委託差止め訴訟 控訴審でも敗
訴、しかし、民間委託に一定の歯止めの判決
強化ガラス食器(コレール)事故に判決 製造者責任を
認め、学校給食食器に不適と判断

【2004年 学校給食ニュース】

04.01

学校給食の主食を考える小麦編その1

長野県大町市自校直営方式をセンター化する方針
ホームページより 川崎市の小学校で、給食運搬をPT
Aがやっています。これはおかしいのでは？

04.02

2004年学校給食全国集会を開催しました。
学校給食についての文部科学省交渉 2月3日、四者
共闘で行って来ました
学校給食の主食を考える～小麦2

04.03

2004年学校給食全国集会記念講演録 学校給食のパン
が危ない～遺伝子組み換え小麦について
長野県大町市、自校方式継続を決定！ 署名1万強、
市民の声が生きました。

04.04

2004年学校給食全国集会パネルディスカッション 合理
化通知から20年目～今考える学校給食の諸問題

04.05

学校給食の主食を考える米編
学校給食調理の受託企業ホームページ調査

04.06

兵庫県三木市民間委託をめぐる諸問題
学校給食アレルギー対応調査報告その1 学校給食ア
レルギー対応調査報告その1

04.07

シンポジウム学校給食の危機と課題より
投稿 保育園での用務員調理と衛生管理について

04.09

夏期学校給食学習会報告 学校給食の新たな可能性
をさぐる3日間

夏期学習会資料 学校給食における危機管理 アレル
ギーの重篤症状ーアナフィラキシーショックを考えるー

04.10

学校給食アレルギー対応調査報告その2
NPOによる学校給食受託 新潟県十日町市のNPO法
人ネットワーク雪の里

04.11

都市で食材を生きた教材にするために いわて首都圏
食育交流事業を例に、産直食材について考える
投稿 山梨県甲府市、自校直営ならば保護者負担増を
求める外部評価 小学校給食調理の民間委託に向けた
動き

【2005年 学校給食ニュース】

05.01

投稿特集1調理の民間委託についての意見
投稿特集2 学校給食実施率と補導あるいは不登校率と
の相関関係

05.02

全国集会関連 四者共闘の文部科学省交渉結果(速
報)
投稿 足立区の民間委託現状について

05.03

全国集会報告 2005年学校給食全国集会報告(1)
学校給食と市場化テスト
栄養教諭制度について

05.04

全国集会報告 2005年学校給食全国集会報告(2) 基
調提案
東京都足立区の給食調理業務委託マニュアル

05.05

全国集会報告 2005年学校給食全国集会報告(3)
パネルディスカッション 学校給食の現状～これから進
む道

05.06

地場産を考える 農水省地産地消等実態調査結果概
要をうけて

05.07

食育基本法成立、学校給食への影響は？

投稿 東久留米市ではじまったばかりの弁当給食に異物混入

05.09

2005夏期学校給食学習会の内容報告

ヒジキ中のヒ素について(参考資料)

05.10

合理化通知は、センター化促進ではない 食育基本法
審議中、文科省発言

各地からの報告 葛飾区の合理化、民間委託の状況

各地からの報告 北九州市の合理化問題の現状と調理
員としての願い

05.11

埼玉県鷲宮町で、「弁当愛情論」「学校給食廃止論」と読
める議会決議がおこなわれる

各地からの報告 大阪府守口市で、給食まつりを開催し
ました

【2006年 学校給食ニュース】

06.01

特集 安全性の安心はないアメリカ産牛肉の輸入再開
学校給食で扱わないための取り組みを ほか

06.02

特集 強化磁器食器をめぐる新たな動き 破損率低下
と回収・再生システムの試み

解説 学校給食食器の種類と特徴 ほか

06.03

特集 四者共闘文部科学省交渉報告

追悼 下田エミ子さんを偲ぶ

投稿 香川県高松市の給食センター問題 ほか

06.04

特集 全国集会報告1

基調提案 全日本自治団体労働組合現業局長 松村
良一

学校給食全国集会記念講演 地域農業と学校給食
中島紀一さん(茨城大学教授)

食育に関する国会議員報告会

山東昭子参議院議員 自由民主党

高木美智代衆議院議員 公明党

岡崎トミ子参議院議員 民主党

菅野哲雄衆議院議員 社民党

06.05

特集 全国集会報告2

全国集会のパネルディスカッションの内容を掲載。

テーマ:法律・制度と学校給食～食育基本法や栄養教
諭制度が制定され、市町村合併が進行する今、給食の
あるべき姿とは

全国の事例報告も満載

06.06

食育推進基本計画のなかみ。栄養教諭と学校給食への
過大な期待か?

遺伝子組み換え「高リシン・トウモロコシ」をめぐる議論

06.07

放射線照射スパイス・ハーブを認可する動きが高まっ
ています(記事)

照射スパイスが許可になりそうです(食品照射ネットワ
ーク)

「照射食品」についての、私たちの意見(日本消費者連
盟代表運営委員 富山洋子)

山形県米沢市の調理員取り組み事例

06.09

2006夏期学校給食学習会報告

食育と栄養教諭制度～学校給食のあり方を考える
食育推進基本計画と関係する政策

06.10

都道府県食育推進計画の実際 1道8県の計画から

投稿 島根県安来市の中学校 業者弁当を全員義務
化

北海道網走市立潮見小学校での「おにぎり隊」の実施に
ついて

06.11

輸入食品を考える1 福岡市で中国産冷凍きぬさや残
留農薬検出

輸入食品を考える2 未承認遺伝子組み換え作物があ
いっいで流通発覚

資料 福岡市の調理員の取り組み 調理現場からの食
育へのアプローチ

【2007年 学校給食ニュース】

07.01

愛媛県今治市、食育から有機農業までを含んだ条例
今後の全国の指針となるか?

今治市食と農のまちづくり条例紹介ほか

07.02

学校給食費の未納は、保護者の意識の変化なのか?

文部科学省、初の給食費未納問題実態調査結果公表
自治体に未納対策を求める

都道府県の食育推進計画状況 東北、関東、北陸編
(2007年1月現在)

07.03

都道府県の食育推進計画状況続2

中部、近畿、中国、四国、九州編(2007年2月現在)

47都道府県の現状のまとめレポート付き

07.04

学校給食全国集会報告

食育と合理化のはざままで シンポジウムレポート

関係資料つき

07.05

市町村の食育推進計画も進んでいます

インターネット上でのサンプル調査を実施しました

市町村状況速報

07.06

放射線照射食品の危険性がさらに明らかに

「学校給食と照射食品」里見宏(健康情報研究センター・
照射食品反対連絡会)

「市民団体による照射食品アンケート報告」須佐武美(大
地を守る会、全国学校給食を考える会事務局)

福岡県福智町、センター計画取りやめ、自校・親子継続
へ

新聞・ホームページ等からの情報(ホームページ未掲載
も含む)

都道府県食育推進計画の最新状況

07.07

いったい、何がどうなっているの？

学校給食調理の民間委託実態

首都圏学校栄養職員による匿名座談会

07.09

2007夏期学校給食学習会報告

07.10

魚介類に含まれるメチル水銀と食の安全性

学校給食調理の民間委託実態 学校栄養職員による匿
名座談会2(地方編)

07.11

文科省アレルギー全国調査から考える 学校給食とアレ
ルギー対応

【2008年 学校給食ニュース】

08.01

政令指定都市の食育推進計画状況

08.02

さまざまな食品表示の基本的整理と問題点

08.03

学校給食法の改定へ…中央教育審議会答申

文部科学省交渉報告…学校給食全国集会実行委員会

08.04

2008学校給食全国集会報告(前半)

基調提案、基調報告(2007年度を総括する 食育と合理
化のはざまの1年)

08.05

学校給食法改正案整理と問題点

2008学校給食全国集会報告(後半) 事例報告とパネル
ディスカッション、意見交換

08.06

調理員の食育・取り組みとまとめの事例

08.07

都道府県・市町村の食育推進計画動向(08.05)

学校給食とアレルギー(事例 世田谷区)

08.09

改定学校給食法成立、食育の期待と合理化の現実

08.10

2008夏期学校給食学習会報告

食材が危ないー六ヶ所村再処理工場の問題から

Q&A 食材の安全性…現状は？ 不安なら弁当持参
は可能？

08.11

ポリカーボネート食器の使用中止を検討してください

給食食器・強化磁器についての基礎知識

子どもたちにとって安全・安心な給食用食器とは～強化
磁器の特性とその上手な使い方

愛知工業大学工学部応用化学科 小林雄一教授

Q&A 変な取り合わせの献立が多いのでは？ 和食
ではいけない？

【2009年 学校給食ニュース】

09.01

汚染米事件は学校給食に何をもたらしたか

09.02

学校給食実施基準が改定されました

2009年度予算案にみる食育・学校給食政策

学校給食実施基準が改定されました
平成20年度版食育白書から
09.03
センター方式が増加、規模拡大、PFI導入も
食物アレルギー危機管理情報ホームページ紹介
Q&A給食のことはだれに相談したらいい？
09.04
生きた教材は給食室と畑から～つながりが切れれば「教育力」が失われる
ある栄養士からのメッセージ
Q&A新入学生、保護者は何をすればいい？
09.05
2009学校給食全国集会報告特集
学校給食を通して食の安全と信頼をつくろう
09.06
食育と学校給食の背景 世界の食料事情と日本の食料自給率
Q&A そもそも、学校給食は必要？ 食べなければいけない？
09.07
沖縄県名護市の学校給食センター統廃合問題
沖縄県教職員組合の調査と取り組み
Q&A畑に囲まれているのに、地場産給食ができないなんて
投稿 障害児学校(広島県)の民間委託について 食材仕入れも業者任せに
09.09
「食」とこどもの健康を考える 2009夏期学校給食学習会報告
「学校給食衛生管理基準をどう読み取るか」科学的な根拠がある衛生管理を
健康情報研究センター代表 里見宏さん
Q&A 突然調理の民間委託のお知らせが来ました
09.10
いま一度、「合理化通知」を考える
アレルギーの現在第1回 教育の機会としてのアレルギー対応を
NPO法人アトピッ子地球の子ネットワーク事務局長赤城智美
Q&A 食育の問題とメリットについて教えてください(前編)
09.11

企業の食育調査2009(インターネット版)
給食レシピ集を発行 米沢市職員労働組合学校給食部会
Q&A 食育の問題とメリットについて教えてください(後編)

【2010年 学校給食ニュース】

2010.01
投稿 変わり続ける学校給食、食育の明日へ 福岡市の学校給食の取り組み
投稿 学校給食から見える食農と農業問題
Q&A 薬剤を使わない衛生管理はできませんか？
連載 アレルギーの現在第2回 診断書と保護者からの除去希望の違い、その背景
2010.02
市町村の食育推進計画レポート2010年版(1)
Q&A 加工品・冷凍食品を使う給食と、手作り給食の差はなぜ？
2010.03
2008年の学校給食動向と、10年、20年後
Q&A より安全な食材を学校給食で使用する方法は？
2010.04
茨城県つくば市、12000食センターを2施設計画
Q&A 好き嫌いの多い子どもの新入学、給食に不安？アレルギーの現在第3回 牛乳・乳製品での注意事項は？
市町村の食育推進計画レポート2010年版(2) 東京都日野市の学校給食にこだわった計画
2010.05
2010年03月20日 学校給食全国集会報告
学校給食の教材としておすすめの本・ポスター
Q&A 学校給食をよくする地域の運動のつくりかた
2010.06
市町村の食育推進計画レポート2010年版(3)「雲南市食育推進計画」
アレルギーの現在第4回 小麦アレルギーの代替品を選ぶポイント
Q&A 給食費の無償化は、よいこと？ 悪いこと？
2010.07
学校給食調理の民間委託と偽装請負について
食育推進基本計画の見直しははじまりました あらためて考えてみましょう

有機農業から考える、学校給食と生きた教材 いのち、地域から生物多様性、地球温暖化問題まで
群馬県高崎市(旧倉渕村)の地場産野菜使用について
Q&A 夏休み、調理員や栄養士は何をしている？

2010.09

2010夏期学校給食学習会報告

夏期学校給食学習会 給食主要野菜自給50%をめざして

夏期学校給食学習会 「給食畑の野菜」を有機野菜に

夏期学校給食学習会 学校給食の将来像を考える 食育推進基本計画第2期に向けて

Q&A 食育を企業に丸投げしている例があります。いいのですか

2010.10

東京都23区の民間委託状況

北海道、福島県、食育推進計画第2期スタート

大阪府の中学校スクールランチ等推進事業について

栄養教諭配置状況

Q&A センター給食って、出前みたいなイメージがありますが…

「衛生管理」「民間委託」についての「まとめ冊子」ができました。

2010.11

有機農産物の使用実態および導入希望調査報告

Q&A 揚げパンは人気ですが、主食としてどうなの？

アレルギーの現在第5回 食物負荷に対する給食対応の考え方

【2011年 学校給食ニュース】

2011.01

学校給食のアレルギー対応を語る(鼎談)

Q&A 有機ではなくても、地場産を使ったほうがいい？

2011.02

第2次食育推進基本計画骨子が示されました

投稿 “子どもが危ない”学校給食を国民的課題に

投稿 学校給食学習会の感想

Q&A 別の職種から調理員への異動、どうして起きるの
2011.03

文部科学省、2回目の給食費未納調査を実施

Q&A食育の必要性は？ 何を身に付けさせたいの？

投稿 「有機農産物の使用実態等調査」その後

2011.04

2009年の学校給食状況と、世界の食料・エネルギー動向の影響

TPPとは何か～基本用語集

(3月11日以前に作成した号となります。ご了承ください)

2011.05-06(合併号)

東京電力福島第一原子力発電所事故と放射能汚染の食品への影響について

トピックス2 第2次食育推進基本計画が策定されました
2011.07

原発事故と学校給食(原発事故特集第2回)食の安全からの視点

原発事故の状況

座談会～放射能汚染に、どう取り組むのか？

2011.09

2011夏期学校給食学習会報告(原発事故特集第3回)

脱原発、食の安全の確保に向けて

2011夏期学校給食学習会 震災・津波・原発事故後の学校給食を考える

「福島原発事故で何が起きたのか」原子力資料情報室
共同代表伴英幸さん

「脱原発に向けて社会を変革する」田中優さん(未来バンク理事長)

「原発事故と放射能汚染」天笠啓祐さん(市民バイオテクノロジー情報室代表)

「放射線が身体に与える影響について」里見宏さん(健康情報研究センター代表)

2011.10

米の産地表示をしていますか？ 安全と信頼と食育

放射能の検査 ～厚生労働省の通知と、福島県白河市の対応

投稿 福島原発問題から、学校給食を考える～給食学習会の感想

2011.11

原発事故特集第4弾

学校給食の放射能汚染対応

東京23区、政令指定都市、福島県(市部編)

【2012年学校給食ニュース】

2012.01

放射能測定の実験を開始します。

2012.02

学校給食栄養士業務の民間委託の課題

センターから自校方式への移行、最近の事例
投稿「食べて、話そう！ いまどき学校給食事情」に参加
して

生産者と消費者をつなぐ測定ネットレポート
産地で放射能を判断するのは問題かも。紅茶、野菜、
土、井戸水を測ってみると…

2012.03

給食費の未納問題をめぐる最近のうごき
学校給食における放射能測定の動きが急速に広がる

2012.04

校給食調理の民間委託を促す動き 内閣府、偽装請負
回避のマニュアル作成

投稿 なぜ、今、学校給食の民間委託化に反対するのか

2012.05

2012学校給食全国集会報告

2012.06

放射能汚染食品を食べさせない学校給食を
健康情報研究センター代表 里見宏さんに聞く

2012.07

最新学校給食動向(文科省2010年調査)
学校給食調理の民間委託とはなにか(基本)
TPPが食の安全と学校給食に与える影響の可能性

2012.09

学校給食の今の課題を学ぶ2日間
夏期学校給食学習会報告(その1)
学習会案内 全国学校給食を考える会が連続講座を開
講します。

2012.10

TPPと私たちの暮らし・食生活
(夏期学校給食学習会報告 その2)
大阪市、弁当併用デリバリー方式学校給食開始(中学
校)

2012.11

福岡市、学校給食合理化の現状と給食運動
最新学校給食の放射能測定と公表の現状
食品の放射能測定についての基本的な知識の整理と、
各自自治体での学校給食に関する測定の方法や公表の
仕方などをまとめました。(学校給食連続講座第1回を踏
まえて)

【2013年学校給食ニュース】

2013.01

食育の第2期、学校給食は変わるのか？ 九州、四国、
中国、近畿府県食育推進計画編

2013.02

食育の第2期、学校給食は変わるのか？ その2
中部、北陸、甲信越、関東南部 都県食育推進計画編
放射線照射食品の安全性にさらなる事実が判明

2013.03

学校給食によるアレルギー死亡事故が発生
第1報経過と課題の洗い出し
民間委託の抱える問題 学校栄養士匿名座談会第3弾
投稿 松本市で、自校方式を求める提言書が出される

2013.04

食育の第2期、学校給食は変わるのか？ その3
北海道、東北、関東北部・千葉県食育推進計画編
連続学習会第3回報告 アレルギーと学校給食

調布の学校給食事故から考える

2013.05

調布市のアレルギー児死亡事故の検証結果報告まと
まる

3. 27 学校給食全国集会報告

連続学習会第3回報告 アレルギーと学校給食
西から東から・北から南から 東京よりTPP交渉参加反対
アピール

短針 東京都狛江市、デリバリー給食中止

2013.06

江戸川区の栄養士業務民間委託化を考える
トピックス2 病原性大腸菌O157食中毒事故と衛生管理
基準

西から東から・北から南から

2013.07

食育の第2期、学校給食は変わるのか 4
まとめ～多様性がうまれるとともに、「感謝の念」などの強
調も

西から東から・北から南から

2013.09

2013夏期学校給食学習会報告
テーマは、1日目が「日常的危険として存在する食物ア
レルギー/放射能汚染」2日目は「めざすべき学校給食の
姿/その教育力」でした。主に、パネルディスカッションの
内容を中心に報告をします。

2013.10

特集福岡市の小学校給食の今

2013.11

二度と死亡事故を起こさないために
調布市の事故再発防止検討結果報告書から考える

【2014年学校給食ニュース】

2014.01

異物混入事故はなぜ続くのか？
調布市、再発防止策をまとめる

2014.02

学校給食と政策、パン給食・米飯給食はどのようにはじま
ったのか？

語り伝える学校給食史おこげで安心・ご飯の給食(1993
年・子どもと食文化より)

2014.03

学校給食実施状況調査(2012)から
短針 アレルギー疾患等の現状調査

2014.04

神奈川県川崎市、座間市の中学校給食導入と
市によるアンケート調査の結果より

2014.05

学校給食全国集会報告

2014子どもたちのための学校給食を求めて

ひろがれ！ すてきな学校給食

全国のすてきな学校給食を紹介します 吉原ひろこさん
(料理研究家)

ノロウイルスにどう向き合うか 里見宏さん(健康情報研究
センター代表)

時事情報 給食費無料化、就学援助

2014.06

牛乳はどうして学校給食についてくるの？

合理化議論から、食育の議論へ 長野県伊那市、「学校
給食のあり方」をまとめる

時事情報 施設設備、そのほか

投稿 給食アレルギーおよび小児生活習慣病の傾向と
対策

2014.07

動き出した食物アレルギー対応と学校の危機管理

時事情報

(牛乳関係)牛乳をめぐるふたつの動きについて

(インターネットから)施設設備、そのほか

2014.09

ABS食器の品質問題、ありませんか？

報告 2014夏期学校給食学習会

報告 大阪市中学校給食の現状と課題

時事情報 インターネット、自治体HP等より

2014.10

自治体による給食の放射性物質測定は今

2014.11

輸入食品と学校給食

時事情報 インターネット、自治体HP等より

【2015年学校給食ニュース】

2015.01

政令指定都市20市の中学校給食動向

輸入食品を考える2 冷凍食品の今

2015.02

輸入食品を考える3 水産物の生産、加工、輸入、消費を
考える

時事情報 インターネット、自治体HP等より

2015.03

調理の民間委託を考える～仕様書より

時事情報 文科省、学校統合・小規模校維持のガイドラ
イン作成

2015.04

文部科学省学校給食実施状況調査(2013)から

時事情報 子どもの貧困、給食運営、異物混入等

2015.05

2015学校給食全国集会報告

時事情報 文科省、アレルギー対応指針を発表

2015.06

遺伝子組み換え作物20年、学校給食は大丈夫か？

酵母エキスが原因の食物アレルギーが報告される

2015.07

区市町村の食育推進計画から学校給食を考える

(国の基本計画第2期の最終年度です)

2015.09

大規模学校給食センターが増えています

鹿児島県奄美市で4000食のセンター計画

投稿 和食と牛乳と学校給食についての疑問、みなさん
はどう思う？

2015.10

2015夏期学校給食学習会報告

「食育」の10年を振り返る なぜ、単独調理方式の記述が
消えたのか？

2015.11

第3次食育推進基本計画の方向が明らかに／中学校給食推進が記載される見通し

貧困への手は遠のいていないか？／平成25年度就学援助実施状況が発表される

投稿「和食と牛乳と学校給食についての疑問、みなさんはどう思う？」への投稿

【2016年学校給食ニュース】

2016.01

変わるアレルギー対応への期待と課題

投稿「和食と牛乳と学校給食について」

2016.02

いま、学校給食調理受託業界は？

2016.03

東日本大震災、東電福島第一原発事故からまもなく5年

2016.04

文部科学省学校給食実施状況調査(2014)から

2016.05

どうする食育、どうなる学校給食

第3次食育推進基本計画を読む

2016.06

なぜ学校給食の調理民間委託が進むのか？

国が市町村に圧力をかけています。

2016学校給食全国集会報告

食の安全、日本の農業と学校給食

熊本地震特集

2016.07

デリバリー給食は、学校給食の質を保てるのか？

神戸市、佐賀県上峰町、吉野ヶ里町の事例から

栃木県宇都宮市で、基準超の放射性物質を含む

タケノコが学校給食に使用されました

2016学校給食全国集会報告2

2016.09

2016夏期学校給食学習会報告

なぜ学習会を行うのか？

遺伝子組み換え食品と学校給食(安田節子さん・食政策センタービジョン21)、

完全米飯給食の取り組みと背景・その課題(三条市)

子どもが直面する生きづらさとは(岸田久恵さん・支援ハウス「学び塾猫の足あと」主宰)

なぜ今、子ども食堂(浅野律子さん・元調理員)

教材化が遅れている学校給食ー食中毒などを例に(里見宏さん・健康情報研究センター)

2016.10

2016夏期学校給食学習会報告(後半)

「学校給食にはまだまだ学ぶことがたくさんあります」

牧下圭貴(学校給食ニュース編集責任者)

「栄養士としての仕事を振り返って」武高子さん(東京都学校栄養職員)

「東京都武蔵野市の給食～財団運営による給食・食育」

佐々木輝雄さん(日本獣医生命科学大学名誉教授／武蔵野市給食・食育振興財団理事長)

下里栄さん(武蔵野市給食・食育振興財団業務統括・研修担当)

2016.11

学校給食はこの四半世紀で教育力を高めたのか？

「学校給食教材化マニュアル」の達成度

【特別公開】学校給食教材化マニュアル(1991年発行)

【2017年学校給食ニュース】

2017.01

滋賀県大津市中学校給食導入にあわせ、PFI方式で

17000食のセンターを計画

「学校給食教材化マニュアル」の達成度 その2

「食育」政策のいま～国の事業報告と次年度予算から

2017.02

学校給食はこの四半世紀で教育力を高めたのか？

「学校給食教材化マニュアル」の達成度その3

中教審答申(学習指導要領の改定)が出されました。

学校給食、食育、栄養教諭の位置づけは？

2017.03

2015年学校給食実施状況等調査報告より

20年間の変化、これからの変化

2017.04

学校給食とウイルス性食中毒(ノロウイルス)

2017.05

あらためて学校給食調理の民間委託とは？

2017.06

遺伝子組み換え作物と残留農薬問題

投稿 神奈川県座間市のデリバリー給食について

時事情報

新聞・インターネット、その他から

■文部科学省「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育」を公表

文部科学省は2017年5月に「栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育～チーム学校で取り組む食育推進のPDCA～」を公表し、栄養教諭(栄養教職員)の職務、学校の全体計画や教職員、学校給食運営管理、地域との連携などについて、計画から評価改善手法までをマニュアル化した。これまでの食育推進基本計画や学校給食法改定、実施基準、衛生管理基準、中教審答申などを踏まえ、マニュアルとして整備したものとなっている。

食育推進基本計画(第1次)の時点から、地域との連携が職務に含まれていることなど、いくつかの問題点が指摘されているが、それらの配慮はなく、栄養教諭の職務の幅広さが際立っている。また、文科省は「なお、本冊子では、栄養教諭が配置されている学校の状況を想定して作成しましたので、栄養教諭が配置されていない学校においては、それぞれの学校の状況に応じて本冊子の内容を目指した取組をお願いします」としている。

実態としては栄養教諭はセンター配置の兼務校などの状況があり、栄養教諭制度の配置が都道府県により大きな格差となっていることなど、現状には課題も多い。

しかし、学校給食と食育、学校教育の中の食育の位置づけなども明示されており、今後、このマニュアルが各自治体、学校等でどのように扱われるか注目される。

栄養教諭を中核としたこれからの学校の食育 http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/syokuiku/1385699.htm

■食育白書(平成28年)公表される

2017年5月30日、農林水産省より平成28年食育白書が公表された。

農水省からの公表は昨年度からだだが、本格的に農水省が中心となって策定したのは今年度からになる。学校給食や子どもの学校での食育については文部科学省が担当しており、該当部分は文部科学省が中心となって記述してあるがとところどころに農水省らしさを感じることができ

る。

特集1より……

各学校の現場においては、栄養教諭が中心となって食育を推進しており、その中で、地元の食材を活用し、また、その生産者との交流を図るなどの取組が進められています。そうした取組を進めていく中で生産者の思いが伝わり、子供たちに生産者や食に関する感謝の念が生まれてきます。こうした取組は、各地でなされています。

第3次基本計画においては「学校給食等における地域の農林水産物の安定的な生産・供給体制を構築し、地域の農林水産物の利用拡大を図る。また、地域ぐるみでの取組を推進するため、地域における関係者の連携の場等の設置、地域の戦略等の策定を推進する。」とされており、引き続き、食や農林水産業への理解が深まるように、地域の实情に合わせて農林漁業体験活動や地域の農林水産物の利用を積極的に推進していく必要があります。

食育白書(平成28年)

http://www.maff.go.jp/j/syokuiku/wpaper/h28_index.html

■茨城県各地、給食牛乳で体調不良等

NHK、茨城新聞等、2017年6月6日、6月8日等の情報をまとめると、2017年6月5日に茨城県内の小中学校で給食用に提供された牛乳を飲んだ児童生徒が異臭、味の違和感を訴え、体調不良370人以上と報告された。消毒臭(塩素臭)、水っぽいなどと表現されている。複数校で起きており、なんらかの原因はあったはずだ。なお、その後の報道では370人との表記もある。

別の報道などで、県の調査の後、厚生労働省が食品衛生法に基づき立ち入り調査をしているが結果は未公表。製造元の「いばらく乳業」は、2017年6月9日付けで、ウェブサイトに、「弊社学校給食用牛乳の安全性検査等の結果について」と題する報告を行っており、そこでは、「健康被害につながる品質異常がないことを確認いたしました

た」としている。

茨城県、教育委員会等からの情報発信はない。

弊社学校給食用牛乳の安全性検査等の結果について(いばらく乳業)

http://www.ibaraku.co.jp/pdf/20170609_information.pdf

■奈良県大和高田市、中学校給食実施

奈良県大和高田市は、2017年6月より中学校給食を自校・民間委託方式で実施する。

委託事業者はプロポーザル方式で3年の契約となる。

大和高田市立中学校給食調理業務託公募型プロポーザル実施要領によると、3中学校は444食～700食規模で、委託限度額は年間1600万円～1740万円万円規模を想定している。

大和高田市立中学校給食調理業務託公募型プロポーザル実施要領 http://www.city.yamatotakada.nara.jp/biz/nyusatsu/docs/zissiyouryou_281109.pdf

■兵庫県伊丹市、6000食の給食センター稼働

兵庫県伊丹市は、中学校8校に向けて学校給食センターを新設・稼働、2017年6月より8中学校に提供を開始した。これまで中学校給食は未実施。

公設市場敷地内に設置された。調理は民間委託となる。

中学校給食の実施について(伊丹市) http://www.city.ita-mi.lg.jp/SYUYO_ZIGYO/1464921703746.html

■福岡県太宰府市、中学校の完全給食断念

福岡県太宰府市は、2016年8月に「太宰府市中学校給食のあり方について」(報告)をとりまとめ、完全給食実施にむけて調整をしていた。報告によると、市長の中学校給食導入方針を受け、2015年度に太宰府市立学校給食改善研究委員会を設置し検討、完全給食が望ましいとの答申を受け、意識調査等を踏まえて、検討されたもの。太宰府市では、現行、ミルク給食を実施。家庭弁当、デリバリーランチサービス、パンの購入の形で中学校の昼食を対応している。このデリバリーランチ方式を充実させる形でデリバリー方式での完全給食の方針を立てた。また、アレルギー対応等は弁当持参とする方針であった。西日本新聞2017年6月2日付けによると、この方針に対し、完全給食を公約としていた市長は、財政負担の試算が想定以上にかかることから完全給食化の方針を撤回すると議会に報告したという。中学校ランチサービスは、ミルク給食の給食費とは別に、1食300円で提供。

太宰府市 中学校ランチサービス <http://www.city.dazaifu.lg.jp/admin/kosodate/gakko/a/3094.html>

太宰府市中学校給食のあり方について http://www.city.dazaifu.lg.jp/material/files/group/3/2_iinkaihoukoku.pdf

■静岡県、2019年度までに全小中校でお茶提供へ

■愛知県豊橋市のセンター調理員が梅収穫

平成28年度活動報告

<http://www.city.toyohashi.lg.jp/26473.htm>

学校給食ニュース 193号

発行:学校給食ニュース

編集:学校給食ニュース編集事務局

郵便振替口座番号: 00100-2-726489

名義: 全国学校給食を考える会

〒106-0032 東京都港区六本木6-8-15

第2五ビル2階 大地を守る会気付

全国学校給食を考える会

お問い合わせは…全国学校給食を考える会

電話:03-3402-8902 FAX:03-3402-5590

E-mail kyushoku@member.daichi.or.jp (購読・会費等)

学校給食ニュース発行団体

●全日本自治団体労働組合・現業局

千代田区六番町1(電話03-3263-0276)

●日本教職員組合・生活局

千代田区一ツ橋2-6-2(電話03-3265-2175)

●日本消費者連盟

新宿区西早稲田1-9-19-207(電話03-5155-4765)

●全国学校給食を考える会 左記住所、電話番号

(内容の問合せや投稿は)

E-mail desk@gakkyu-news.net(牧下)まで